

## 米国病院船マーシー東京寄港に係る企画検討会（第4回）

### 議事要旨

#### 1 日時等

日時：平成30年5月17日（木）15:00～16:30

場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

#### 2 出席者

跡見委員（座長）、小井土委員、砂田委員、山口委員、横田委員、吉井委員、行政委員（内閣官房（事態対処・危機管理担当）中西委員、内閣府（防災）須藤委員、消防庁 野本委員（代理 小谷救急専門官）、消防庁 本間委員（代理 明田課長補佐）、外務省 有吉委員（代理 馬場首席事務官）、厚生労働省 徳本委員、国土交通省 渡田委員、海上保安庁 金子委員（代理 谷防災対策官）、防衛省 矢田委員、防衛省 得津委員（代理 堀越班員）、防衛省 山口委員（代理 渡辺班長）、東京都 小澤委員（代理 尾身課長代理）、東京都 清武委員、東京消防庁 水村委員

#### 3 議事要旨

(1) 「委員会資料、議事内容の公開について（案）」については、マーシーの寄港日程公表を受けて、第1回企画検討会にて決定された原則にしたがって、資料1の内容で公開・非公開を取り扱うこととされた。

(2) 事務局から、「米国海軍病院船マーシー寄港時の企画案について」について説明が行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 日米共同災害医療搬送訓練において患者の引き継ぎをする際に、患者の設定を東京DMATで考えるのか、あるいは米軍から提示があるのか、どちらか。また、設定を事前に知った状況で行うのか、伏せてブラインドで行うのか。
- 日米共同災害医療搬送訓練はあらかじめ申し送り事項などの相談を行った上で行うのではなく、現場で対応するという理解でよいか。
- 患者の引き渡しがポイントになってくると思うが、スムーズに行われる形が良いと考える。
- 訓練参加者から希望があるのであれば、事務局に米軍との事前調整をお願いしたい。
- シンポジウムにおいては同時通訳が入ることであるが、各班のセミナーにおいて通訳は入るのか。細かいニュアンスが違ってはいけないので、入ったほうがいい。

(3) 事務局から、「セミナー班員の報告」及び「セミナーにおける各班の調査・確認事項」について説明が行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- セミナーには幅広い関係者がいるので、充実した検討が期待できる。
- 病院船にかかわってきた方だけではなく、多方面の専門家がいるので、あらゆる方向に専門的な報告書を取りまとめることができるのではないかと期待する。
- しっかりとした議論ができれば、方向性を示すことができるのではないか。班にこだわるのではなく、互いに情報共有を図ることで、班としての報告をまとめていきたい。
- 「セミナーにおける各班の調査・確認事項（案）」において取りまとめの案が提示されているが、あくまで案なので、この後のセミナー学習会を介して各班員の意見を取りまとめる中での参考としてほしい。

(4) 事務局から、「今後のスケジュール」について説明が行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- セミナーやシンポジウムを開催し、終わればまとめる作業なので、6月が終わるまでに方向性が決まっていなければいけないのではないか。
- 班員がレポートをまとめるにあたっては、まず方向性を示されている方が書きやすいだろう。班長はシンポジウム終了後、班員に大まかな道筋を示し、その上で（事務局から説明があったように）各班員が意見をまとめて提出、そしてこれを企画検討会で見ていくこととしたい。

(5) 事務局から以下のとおり事務連絡を行った。

セミナー学習会については、この後16時30分より場所を変えて行う。

次回企画検討会は、7月の開催を予定しているが、改めて調整し連絡する。

以 上